

【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（50,000）を複製したものである。（承認番号）平18道 複 第80号】

標高分布マップ

郡部②

この地図の見方

1. 自分の家の標高は？
 この地図は、数値地図50mメッシュ（標高）を利用し、100m×100m単位に標高分布を表示した地図です。自分の家、学校、職場が標高何mの所に存在するのかわかるように表示されています。

記号	100mメッシュ標高分布
■	0～2.5m
■	2.5～5.0m
■	5.0～7.5m
■	7.5～10.0m
■	10.0～20.0m
■	20.0～30.0m
■	30.0～40.0m
■	40.0～50.0m
■	50.0～100.0m
■	100m以上

2. 自分の家はどうなるの？
 この地図に表示している津波予測は、津波警報が2mの高さで発表されたときに、標高5mまでの高さまで浸水すると予測し、その高さよりも低い区域を表示しています。
 ※津波浸水予測区域については、平成16年3月、内閣府・農林水産省・国土交通省作成「津波・洪水ハザードマップマニュアル」に定める「地盤高による設定」を参考に、斜里町が独自に予測したものであり、津波シミュレーションは行っておりません。

■津波浸水予測標高の考え方
 2mの高さの津波の場合、一般的に津波の遡上高は2倍から4倍になるといわれています。
 ここでは、津波遡上高を津波高の2倍の4mと設定し、さらに眺望平均満潮面1mを加えた高さを浸水標高としています。
 A…津波遡上高 4m（津波高の2倍）
 B…眺望平均満潮面 1m
 A+B=津波浸水予測標高 5m

--- 津波警報 (2m)

3. 津波指定避難所(ウトロを除く)

自治会名	
役場	朝日小学校
	森のまなびや越川87
	三井小学校
	来運水の学校
	富士コミュニティセンター
	自然休養村管理センター

※グラウンドや駐車場等も含めて、敷地全体が避難場所となります。どうしても避難所まで移動が出来ない場合は、安全で高い場所か、近くの頑丈な建物（鉄筋コンクリート又は鉄骨づくり）の2階以上に避難して下さい。

自然休養村管理センター

津波の浸水予測区域の設定にあたっては、水の勢いによる浸水域の拡大や、建物等による低減効果は反映しておりませんので、実際の浸水域と異なる場合があります。

